

型名コード / 付加仕様コード (付加仕様コードは指定を)  
しない場合は記入不要

KJ - 2000B - 30 - A□□8 - □□□ - 000 - 000



\*1 解析ボード(振動信号入力)およびフェーズマーカボードは、1 ボードあたり、最大で4chの信号が入力できます

NA : 未実装を示します(未実装の場合は「0」を記入してください)

Vib : 解析ボード(振動信号入力)を実装できます(指定する場合は「1」を記入してください)

PM : フェーズマーカボードを示します。

## 仕 様

## 入力

## 解析ボード (振動信号入力)

入力点数 : 4 ch  
 最大実装枚数 : 5 枚<sup>2</sup>  
 入力電圧範囲 : -25 V ~ +25 V  
 (精度保証範囲 : -20V ~ +20V)  
 入力インピーダンス : 約 50 kΩ  
 信号入力コネクタ : BNC コネクタ

## フェーズマーカボード (フェーズマーカ信号入力)

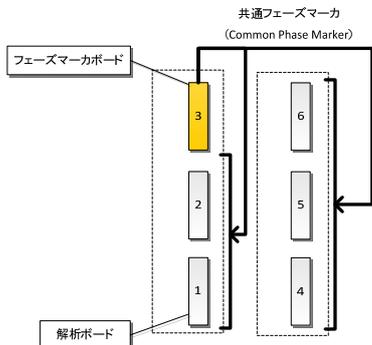
入力点数 : 4 ch  
 実装枚数 : 1 枚<sup>2,3</sup>  
 入力電圧範囲 : -25 V ~ +25 V  
 最小入力パルス幅 : 50 μsec  
 トリガレベル設定 : オート/マニュアル  
 入力インピーダンス : 約 50 kΩ  
 実用回転数範囲 : 60 rpm ~ 60,000 rpm<sup>4</sup>  
 信号入力コネクタ : BNC コネクタ

\*2 総入力点数とボード実装枚数の関係

総入力点数(振動) = 解析ボードの枚数 × 4  
 但し、解析ボードの枚数 ≤ 5

\*3 フェーズマーカ信号の分配について

I/O3に入力したフェーズマーカ信号は I/O3 以外の全ボードで使用できます



\*4 トランジェント測定可能上限数は 15,000 rpm

※ 本製品の入力回路はシングルエンド方式のため、チャンネル間の絶縁はされていません。

## 出力

トランスデューサ用電源  
 : 圧電式トランスデューサ駆動用電源  
 +24VDC/4mA 一定 (入力に内部接続)

## 同期波形データ収集

周波数分析ライン数 : 400/800/1600/3200 ライン  
 サンプリング数 : 1 回転あたり 32/64/128 サンプル  
 サンプリング周波数 : 最大 51.2 kHz  
 データ収集間隔 : 0.1 秒/0.2 秒/0.5 秒/1 秒/2 秒/5 秒/10 秒<sup>5</sup>

\*5 ただし、周波数分析ライン数と振動入力点数によって実際の収集可能な間隔は異なります

## 非同期波形データ収集

周波数分析ライン数 : 400/800/1600/3200 ライン  
 サンプリング周波数 : 最大 51.2 kHz  
 データ収集間隔 : 0.1 秒/0.2 秒/0.5 秒/1 秒/2 秒/5 秒/10 秒<sup>6</sup>

\*6 ただし、周波数分析ライン数と振動入力点数によって実際の収集可能な間隔は異なります

## トレンドデータ収集

項目 : 回転数、GAP  
 振幅 (オーバーオール, 0.5X, 1X, 2X, Not-1X, nX1 ~ nX4<sup>7</sup>)  
 $f_1, f_2^8, S_{(p-p) max}$   
 位相 (0.5X, 1X, 2X, nX1 ~ nX4<sup>7,9</sup>)  
 収集間隔 : 0.1 秒/0.2 秒/0.5 秒/1 秒<sup>10</sup>

\*7 回転同期周波数の n 倍の周波数成分の振幅と位相  
(n = 0.01 ~ 10.00, 0.01 ステップ)

\*8 特定周波数 f における振動振幅 (f = 0.01 ~ 20,000.00 Hz, 0.01 Hz ステップ)

\*9 位相は変位振動の測定時のみ有効

\*10 ただし、振動入力点数によって実際の収集可能な間隔は異なります

## 解析精度

振幅精度 : オーバーオール, 0.5X, 1X, 2X, nX (n=0.01~10.00), Not-1X  
 : ±3% Max. of F.S. at 25°C  
 : ±5% Max. of F.S. at 0°C~45°C  
 (回転速度 30,000 r/min 以下)  
 $S_{(p-p) max}$  : ±5% Max. of F.S. at 25°C,  
 : ±7% Max. of F.S. at 0°C~45°C  
 位相精度 : 0.5X, 1X, 2X : ±3 deg. of rdg. at 25°C  
 : ±6 deg. of rdg. at 0°C~45°C

## ステータス表示灯

POWER LED (橙) : 電源 ON 時に点灯  
 ALARM LED (赤) : 通常時に消灯 機能障害発生時に点灯  
 COMM LED (緑) : 接続時に点灯 通信時に点滅

## 解析ソフトウェア通信機能

ネットワーク : Ethernet 100BASE-TX  
 プロトコル : TCP-IP  
 コネクタ : RJ-45

## 電源

定格電圧 : 24 VDC (専用 AC アダプタによる)  
 電源電圧範囲 : 85~264 VAC (専用 AC アダプタ)

## 消費電力

最大消費電力 : 70VA

## 使用環境

## ポータブルデータ収集装置

使用温度 : -10°C~+45°C  
 保存温度 : -30°C~+85°C  
 相対湿度 : 20~90% RH (非凝結、非浸漬)

## AC アダプタ

使用温度 : +0°C~+40°C  
 保存温度 : -10°C~+60°C  
 相対湿度 : 20~80% RH (非凝結、非浸漬)

## 絶縁抵抗

電源-接地間 : 100MΩ at 500VDC (AC アダプタ)

## 耐電圧

電源-接地間 : 1500VAC 1分間 (AC アダプタ)

## 外形

約 96 (W)×224 (H)×163(D) mm (突起部を除く)

## 質量

最大実装時 : Max. 2.6 kg  
 (AC アダプタ、ケーブル類は含まれていません)

## 標準付属品

AC アダプタ : 1個  
 LAN ケーブル : 3 m×1本 (クロスケーブル)

## 別売オプション

Kenjin オリジナルキャリングバッグ : 7072NAP

## 関連ソフトウェア

Kenjin XJ-2000 解析ソフトウェア : 振動解析・表示・設定・調整  
 Kenjin XJ-2100 解析ソフトウェア : 振動解析・表示・設定・調整

※ 仕様、その他の記載事項は変更することがありますので、予めご了承下さい。

## デフォルト設定値

## 入力(振動)

モニタリング : 変位振動入力  
 モニタレンジ : 0-100μm pk-pk  
 入力センサ : FK-202F (非本質安全防爆仕様)

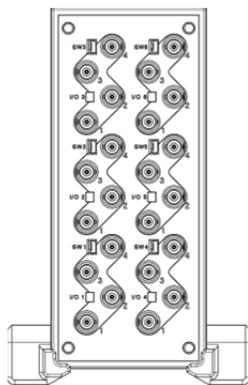
## 入力(フェーズマーカ)

入力センサ : Generic Sensor  
 トリガモード : Auto  
 ヒステリシス : 1.0V

## 通信

IP アドレス : 192.168.8.200  
 サブネットマスク : 255.255.255.0  
 ポート番号 : 8882

外観



I/O ボードロケーション

